

第65回 近畿高等学校アーチェリー選手権大会

実 施 要 項

1. 主 催 近畿高等学校体育連盟・京都府教育委員会・京都市教育委員会

2. 後 援 京都府アーチェリー連盟

3. 主 管 京都府高等学校体育連盟アーチェリー専門部

4. 期 日 2026年(令和8年)7月19日(日)～20日(月)

5. 会 場 同志社大学京田辺校地 陸上競技場
京都府京田辺市多々羅都谷1-3

6. 競技種目 オリンピックラウンドによる団体戦及び個人戦

7. 競技日程 7月19日(日)

受	付	10:00～10:25
監 督 会 議		10:30～11:00
用 具 検 査		11:20～11:50
(昼食)		
開 会 式		12:20～12:50
練 習		13:00～13:20
クオリフィケーション		13:20～16:00
予選通過発表		16:30

7月20日(月)

個 人 戦 練 習	9:00～ 9:15
個人1/16リミネーションラウンド	9:15～ 9:45
個人1/8リミネーションラウンド	9:45～10:15
個人1/4ファイナルラウンド	10:15～10:45
個人セミファイナルラウンド	10:45～11:15
個人メダルマッチ	11:15～11:45
(昼食)	
団 体 戦 練 習	12:30～12:45
団体1/4ファイナルラウンド	12:45～13:15
団体セミファイナルラウンド	13:15～13:45
団体フロンズメダルマッチ	13:45～14:15
団体コールドメダルマッチ	14:15～14:45
閉 会 式	15:00～15:30

上記の時間は予定です。当日の進行状況・天候等によって変更する場合がありますのでご注意ください。

8. 競技規則

(公社)全日本アーチェリー連盟競技規則2026～2027年、および近畿高等学校体育連盟アーチェリー専門部が定める大会運営規程により実施する。

9. 競技方法

(1) 練習

19日の予選クオリフィケーション前は1立ち3分を2回、20日の個人戦前には1立ち1分30秒・団体戦前に1立ち2分をそれぞれ2回行う。

(2) 個人・団体予選ラウンドについて

ア 1標的2名同時行射(AB・CD)とし、AB・CD 矢取り／CD・AB 矢取り を繰り返す。

行射時間はシュートオフも含めて1射30秒とし、6射3分として試合進行する。

イ 得点記録・矢取りは6射毎に行う。

ウ 個人戦の予選順位は70m72射の合計で決定する。なお、団体戦出場者は、個人戦を兼ねるものとする。

エ 団体戦の予選順位は、出場選手(4名以内)の上位3名の個人得点の合計で決定する。

オ 団体戦の予選通過チームは、男女とも各上位8位までとし、個人戦の予選通過者は男女とも各上位32位までとする。

カ 個人戦・団体戦の決勝ラウンド進出をかけた順位で同点が生じた場合は、30秒で1射のシュートオフを行う。(団体の場合は、予選ラウンドにおける上位3名が30秒で1射ずつ行射した3本の合計点とする。)

キ 上記以外の順位で同点が生じた場合には、①X数 ②10点数によって順位を決定する。それでも同点の場合は、ディスクスにより決定する。

(3) 決勝ラウンドについて

ア 個人戦・団体戦ともセットシステム(個人戦は5セットマッチ、団体戦は4セットマッチ)で行う。

イ 各セットの高得点者は2ポイント、同点の場合は両競技者に1ポイント、シュートオフの勝者は1ポイントを獲得する。個人戦については各対戦で6ポイント以上に達した競技者、団体戦については5ポイント以上に達したチームが勝者となり次のラウンドに進む。

ウ 団体戦決勝ラウンドの行射方法は、全対戦においてチーム毎に1名の競技者のみがシューティングライン上に立ち行射し、3名が順次交代して行射する。

2分6射(1競技者2射)4セットで実施し、5ポイント先取チームが勝利となる。

第4セット終了時点で同ポイントの場合、シュートオフを1回(1分で3名が1射ずつ)行う。シュートオフが同点の場合、チーム内の中心に最も近い矢で決定する。

エ 各対戦の立ち位置は、監督会議で配布するトーナメント表の通りとする。

10. 参加資格

(1) 選手は、各府県予選会を経て、近畿大会の参加資格を得たチーム及び選手で、令和8年度全日本アーチェリー連盟ならびに全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部に登録する高等学校生であること。

(2) 選手は令和8年度(公社)全日本アーチェリー連盟登録規定により、高等学校競技者として登録を完了し、「A・J・A・Fターゲットバッジ」を取得している者に限る。ただし交付申請中の者は大会事務局まで連絡すること。

(3) 年令制限・チーム編成等については、全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技の参加資格に準ずる。

(4) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教

(5) 監督は、校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は全国高体連アーチェリー専門部が定める承認用紙を申込時に提出すること。なお、監督は令和8年度全日本アーチェリー連盟または全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部顧問登録のいずれかを完了している者で、監督証(会員証)を常に携行すること。

15. 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて

大会参加申込書等を通じて取得される個人情報及び肖像権の取り扱いについては以下のとおり対応します。

参加申込書の提出により、下記の取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。

(1) 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- ア 大会プログラムに記載されます。
- イ 競技会場でアナウンス等により紹介されることがあります。
- ウ 競技会場内外に掲示板等に記載されることがあります。

(2) 競技結果(記録)の取り扱い

- ア 認められた報道機関等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- イ 新記録・優勝(記録)等は、次年度以降の大会プログラムに記載されることがあります。

(3) 肖像権に関する取り扱い

- ア 認められた報道機関等により撮影した写真が新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。

16. 会場への来場方法について

会場の同志社大学京田辺校地への自家用車での入構は、事前に申請を行った監督・引率者のみ可とします。別紙要項に従い、申請を行ってください。監督・引率者以外の方は、公共交通機関をご利用ください。

17. その他

審判業務は、例年どおり、参加校の先生方で行います。審判のできる服装(赤審判シャツ・ベージュのスラックス・運動靴)＜高体連審判キャップをお持ちの方は持参ください＞の準備をお願いいたします。なお審判資格のない先生方にも当日競技運営のお手伝いをお願いいたします。